

龍 灯

第 89 号

発行所

大阪市史跡
龍溪禪師墓所

靈龜山

九条院

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号

TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第廿六代住職

奥田 穂積 (明勝)

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

IWC 脱退商業捕鯨再開

いのちの布施を忘れずに！

日本政府は昨年6月26日、鯨の資源管理を担う国際捕鯨委員会（IWC）から脱退し、本年の7月には領海と排他的経済水域（EEZ）での商業捕鯨を再開すると表明しました。ハリハリ鍋やおでんのコロ、鯨ティなど鯨肉料理という食文化をかかえる日本にとって朗報といえますが、30年にわたる南極海での調査捕鯨によりミンククジラなどの資源復活が確認されているにもかかわらず、反捕鯨団体シーシェパードをはじめ反捕鯨団側の妨害活動も予想されます。空を飛ぶものの飛行機以外、地上にある四つ足ではテーブル以外すべてを食べる中国は別として、イスラム教は豚を、ヒンズー教徒は牛を食べません。

キリスト教の母体となつたユダヤ教には、食物に関してさまざまなタブーがありますが、キリスト教には食物の禁忌（タブー）はいつさい廃されています。

仏教でも、本来は食物の禁忌はありません。お釈迦さまが教えた仏教では、在家信者の布施によつて生きていくのですから、僧は何を施され

ても、何でも食べました。お釈迦さま最後の食事は豚肉料理だったと伝わっています。

しかし、不殺生戒にもとづき当初は自分の手で殺さなければ肉食も可能でしたが、大乗仏教（中国や日本の仏教）になると、厳格に受けとめ僧は肉食をしてはならないという常識が成立しました。

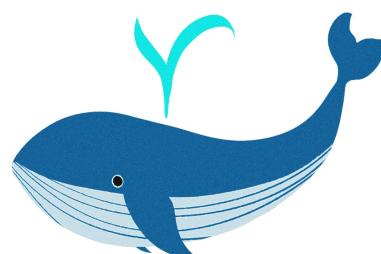
天武天皇の時代に『僧尼令』で肉食を禁じたのです。これは出家に対する規制で在家信者には何ら規制はありませんでした。

親鸞聖人の曾孫にあたる覚如の『口伝鈔』に次の話が出てきます。

親鸞聖人一行が北条時頼の屋敷で食事を供されました。その食事は精進料理ではなく、魚や鳥の肉が使われていました。袈裟を脱いで食事するなかに、親鸞聖人が袈裟を着けたまま食事をしていました。不思議に思った時頼に、「私は戒を破つて肉食をしています。悪いことだ」と判つてゐるのですが、あわれな生きものを殺して食べるからには、この生きものらを成仏してやりたいのです。そこで、袈裟の功德でもつて成仏させようと袈裟を着けたまま食事しているのです」と語

古式捕鯨が盛んだった長門市のお寺には、感謝の思いをこめて鯨塚があります。母鯨のお腹から出た鯨の胎児が埋葬され、次のような言葉、「母子とも鯨として生を終えたが、本来お前たち胎児を捕まえるつもりはなかつた。」（略）：憐れな子よ、われら人間と同じ念佛回向の功德を受けてくれよ」が刻まれ、毎年4月に法事が営まれています。

私たちが生きていくには他の命を奪わざるを得ません。精進料理といえども植物の命を奪うことには違ひがありません。食事のまえには、どんな宗教でも感謝の気持ちを表します。そして、食物を無駄にせぬよう有り難く頂くのです。飽食の時代、食事に感謝を忘れた今日この頃、いのちの布施のおかげで生き長らえていふことを忘れてはならないと思います。



尻無川は現大正区と港区の境界を流れる川で、曾て大川（淀川）の水が今橋辺りから東横堀を通り道頓堀から櫻川・尻無川へ又川口町から大正橋・尻無川へ通じていた。木津川の千代崎橋から尻無川の花園橋界隈は、一般大衆を客層とした大繁華街で、劇場3、活動写真（映画館）5、寄席演芸場10、すき焼きで有名な「いろは牛丼店」拙院の大檀家の正橋・尻無川へ通じていた。木津川など、食満南北『上方色街通』に

（大意）尻無川の畔に店々の萬楽地花園橋上で帰ろうと思案するが帰りたくないものだ

（大意）尻無川の幾度も盃を重ねてね燈籠が輝き、顔色もますます赤くなつた花園橋上で帰ろうと思案するが帰りたくないものだ

大刊行）には、「花園橋界隈は『西部市内各娛樂地域の筆頭』にあり、道頓堀や千日前の繁栄を奪おうとしている」と書いている。

『大正大阪風土記』（大正15年）には、「花園橋界隈は『西部市内各娛樂地域の筆頭』にあり、道頓堀や千日前の繁栄を奪おうとしている」と書いている。



八千代座の写真

茨住吉神社は寛永元年（一六二四）幕吏の香西哲雲と土豪の池山新兵衛が衢壇島（九条島）の産土神として勧請した。祭神は住吉四柱の神、勧請したのは、群生していた為とも、宮の住吉大社ともいわれる。茨の字西勧請したのは、當時この地域に茨（神戸）から勧請した為ともいわれる。昭和20年3月13日の空襲で、

（大意）夏の宵そろつて茨住吉神社に詣でる。神輿の簫や太鼓の音は盡きる時なく打ち鳴らししている。神前には拜禮し健勝を祈る。二基の紅白竿燈が屹立し故郷九条はいいところだ

無臂川畔萬燈暉 幾度盃重色轉緋 浪速名高歡樂地 花園橋上欲何歸

⑤景『花園橋界隈』
はなぞのばしかいわい
いばらすみよし

九条十五景シリーズ

『茨住吉神社』

紹介されている。

5館があり、なかでも九条敷島俱楽部は「西洋映画」の専門館だった。昭和四十六年復興造営された。寄席は10席あり、立花席では改良剣舞が中島席では江州音頭が上演されていた。

⑥景『茨住吉神社』

夏宵相伴詣茨祠 鼓簫神輿無盡時 拜禮神前祈健勝 竿燈屹立故郷宜

『大正大阪風土記』（大正15年）には、「花園橋界隈は『西部市内各娛樂地域の筆頭』にあり、道頓堀や千日前の繁栄を奪おうとしている」と書いている。

『大正大阪風土記』（大正15年）には、「花園橋界隈は『西部市内各娛樂地域の筆頭』にあり、道頓堀や千日前の繁栄を奪おうとしている」と書いている。

境内には、同社の復興事業を詳しく誌した「礎石碑」や「楠を讃える碑」などがある。空襲で焼けた大楠は、衢壇島開発当初から天高く屹立していて、樹齢は六、七百年と言われているが、現在は焼けた姿のまま祀られている。

神輿藏一棟だけを残し全焼したが、昭和四十六年復興造営された。

夏祭（7月23日）の「亀甲太鼓」は亀甲模様の幕が掲げられ、「住吉踊り」は天神祭りや難波八坂神社の獅子踊り・露天神社の踊りなどと同じ囃子だが手に持つ道具が牡丹や傘、

舞が中島席では江州音頭が上演されたり」は天神祭りや難波八坂神社の獅子踊り・露天神社の踊りなどと同じ囃子だが手に持つ道具が牡丹や傘、

舞が中島席では江州音頭が上演されたり」は天神祭りや難波八坂神社の獅子踊り・露天神社の踊りなどと同じ囃子だが手に持つ道具が牡丹や傘、



茨住吉神社

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

檀家総代補任のお知らせ

第26代穂積和尚への住職交代に伴い、九島院の檀家総代に欠員が生じていることもあり、以下の方々が九島院の檀家総代に就任して頂きました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

継続 尾崎 高志 様 (大阪市西区)
 継続 中瀬吉秀次郎 様 (豊中市)
 継続 奥迫 吉昭 様 (大阪市西区)
 新任 山田 高弘 様 (大阪市西区)
 新任 鈴木 康三 様 (吹田市)
 新任 市村 祐一 様 (大阪市西区)
 新任 青木 耕士 様 (大阪市西区)
 新任 早田 美智子 様 (大阪市港区)
 新任 邵 禮 様 (天理市)
 新任 脇本 祥生 様 (大阪市西区)

(順不同)

以上、10名の皆様方が九島院の檀家総代を務めて頂きます。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。



なお、3/30(土)写経会終了後に総代会兼責任役員会を開催致します。

(住職)



開催日：昨年大みそか 参加者70名以上



段々と定着してきた大晦日の「坐禅と除夜の鐘&あかりのわ」。地域の方、お檀家の皆様、総勢70名以上がご参加してくれました。本年も様々な行事につけて楽しい新年を迎えることがであります。どうぞ宜しくお願い致し

(住職)

『坐禅と除夜の鐘』 報告

檀信徒の皆さんへ

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで一直線！

行事予定

2/11 写経と精進料理の夕べ

主催 大阪市仏教青年会
四天王寺客殿を利用しての写経会です。参加費三千円。

3/23 山門会（春のお彼岸法要）

(別紙参照)

3/30 写経会

15時～17時半
(別紙参照)

3/30 九島院檀家総代会

18時半～
参加費 千円
(別紙参照)

4/8

花まつり甘茶接待(西区仏教會)
九条駅前での甘茶の接待です。

5/19

お寺deヨガ&手作り市
14時～16時
(別紙参照)

6/2

はじめての坐禅
16時～
(別紙参照)

11/10 (日) 第25代穂積和尚退任式

永代供養墓 だいきじぞうそん
大龜地蔵尊

当院が永代に管理供養し、無縫佛とならないお墓で、遺族・ご家族にも安心して頂けます。

宗旨・宗派は問いません

- ご縁のある方の遺骨をお預かりの方
- 墓地を整理してお骨を移したい方
- お墓の継承者がない方

永代冥福金
一靈30万円/二靈50万円
併せて永代祀堂位牌(2万～6万)が必要となります。(管理料は不要)

黄檗宗(禪) 九島院
きゅうとういん
靈龜山 6583-2725
TEL: 西区本田3丁目4番18号
http://kyoutouin.or.jp

新規境内墓地もあります

平成31年 年忌早見表

年 忌 早 見 表			
年 忌	寂 年	年 忌	寂 年
1周 忌	平成30年	17回 忌	平成15年
3回 忌	平成29年	25回 忌	平成7年
7回 忌	平成25年	33回 忌	昭和62年
13回 忌	平成19年	50回 忌	昭和45年

新築工事..現在～平成31年6月末日

11月より工事が始まり、現在基礎工事がほぼ完了しましたが、鉄骨ボルトの資材不足もあっており、完成時期がずれ込む予定です。それまでの間、ご不便をおかけしますが何卒ご理解下さいますようお願いします。

新庫裡建築報告

●九島院に強盗侵入●

九島院に強盗が入りました。明治15年の話です。同年2月2日の朝日新聞に次の記事（要約）が載っていました。

本堂へ忍び奪い取った彌陀の尊像、是れさえ有れば大願成就かたじけなしと、一昨夜午前2時ごろ2名の強盗が九島院へ忍び入り、本堂に安置ました如来の立像及び仏殿の金具を台所にあった畚（もっこ一藁や縄などで作った土を運ぶ道具）に入れて、担ぎだそうと山門を出ようとした時、畚の縄が切れて尻餅をつき荷物が転げ落ちた。その音に院主が目を覚まし、本堂近くへ駆けつけると、2人の荒男が何やら荷造をしているのを見つけた。強盗だ、いざ踏み込んでとっ捕まえようと手元にあった棒切れを持ち、大喝一声『泥棒！』と叫びながら打ちつけた

強盗は院主の勢いにも屈することなく明晃々的（だんびら一刀のこと）を抜きかざしてきた。院主はその場を引き上げ鐘楼に登って、釣り鐘を激しく撞いたので、寺の小僧や寺男らが駆けつけた。その人数をみて強盗は金具だけを引っさらって逃げ果てた。院主は辛くも難を逃れた本尊の如来さまを恭しく本堂の元の場所に安置し無事を感謝し夜通し読経した。時の住職は18代至頑和尚で、記事によると当時のお寺には釣り鐘のある鐘楼があり、小僧や寺男が複数いることが判ります。

『摂津名所図絵』の江戸時代の九島院には鐘楼がなく、戦災にあった山門も樓閣上には「お盆の夜墓参のための真鍮のローソク立てがしまっていた（叔母の弁）」とのことで、創建以来釣り鐘はなかったと思っていました。平成13年春彼岸に、弊師弘忠和尚の七回忌に報恩の為『弘龍の鐘』を新鋲したのです。記念に龍谷大学の落語研究会で先輩の落語家桂雀三郎師匠にお願いをして『桂雀三郎とまんぶくブラザーズ』のミニライブのあと師匠に撞き初めをしてもらいました。同時にオリジナルソング『九島院梵鐘設置祝い歌』をライブで披露して頂きました。

『弘龍の鐘』は除夜の鐘として撞き続け、昨年大晦日にも大勢の参拝客が撞いてくれました。



ご
案
内

山門会（春彼岸法要）

3月23日（土）
午後 1時半より

※ご先祖供養 宗旨に關係ありません※
ご回向お申込み下さい。

清興：未定

編集後記

- 金拾萬円御寄進（平成30年7月23日）里見 充昭様
 - 金伍萬円御寄進（平成30年8月11日）山本 和子様
 - 金拾萬円御寄進（平成30年8月14日）大内千恵子様
 - 金壹萬円御寄進（平成30年8月15日）井上 章様
 - 金參萬円御寄進（平成30年12月8日）某氏様
 - 金參拾萬円御寄進（平成30年12月21日）鈴木美智代様
- 新庫裡建築費用に使わせて頂きます。有難うございました。

奉納便り

▼小生の頭部硬膜下血腫を寺報でお知らせしたところ大勢の方よりお見舞いのお言葉を頂戴しました。ご心配をお掛けしました。お蔭さまで、12月6日ほぼ完治し、年末年始は自重はしつつも普段の生活に戻っています。

▼陛下の譲位に伴い「平成」が4月30日で終り、4月1日には新年号が公表されます。元号は紀元前の中国・前漢時代に始まり、日本は現在も公的に使用する唯一の国だそうです。▼飛鳥の「大化」に始まり「平成」まで247ある元号はすべて中国の漢籍に典拠する二字の熟語が使われてきました。

▼御代わりに伴う「元号」は国民の「哀」と「苦」に御心をお寄せになつた天皇、皇后

陛下にちなみ漢籍の呪縛から解き放ち日本の古典に求めてはいかがなものだろうか。明治以降、約一千語もの和製漢語が中国に導入され広く使用されているのだから。

▼「靈龜」などはどうか。靈龜山九島院の伝になるのでは。残念、すでに西暦七一五年にありました。

▽新年明けましておめでとうございます。九島院にとつて、本年は新庫裡の建築と11月に行う退任式兼晋山式が主要な行事です。どうぞ協力の程お願い申し上げます。▽また本年は、ラグビーW杯が日本で開催されます。学生時代にラグビーをやっていたこともあって、ラグビーW杯を日本で観戦できることにワクワクしています。

▽12月の奈良マラソンを3時間52分で完走！（住職記）

（閑栖記）

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。